

Table with columns for 事業名, コード, 内容, 課, 所属班, 電話番号, 内線, 128, 基本方針, 施策, 施策の展開, 基本事業, 予算科目, 根拠法令, 会計, 款, 項, 目.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間, ② 事業の内容. Includes checkboxes for 単年度繰返, 期間限定複数年度, and detailed description of traffic safety activities.

(2) トータルコスト

Table with columns for ① 事業費の内訳 (費目等), ② 延べ業務時間の内訳, and a cost breakdown table with columns for 21-26年度 (決算/計画) and rows for 事業費 (国庫支出金, 都道府県支出金, 地方債, その他, 一般財源) and 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Large table with 4 main sections: ① ② ③ ④ (手段・目的・上位目的) and ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ (活動・対象・成果・上位成果指標). Includes activity names, target groups, and quantitative indicators over 21-26 years.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 開始したきっかけは何か? どんな経緯で始まったか?, ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?, ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

事務事業名	交通安全対策事務費 交通安全教育実施事業	課名	市民生活課	班名	市民生活支援班
-------	-------------------------	----	-------	----	---------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつきか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 交通弱者である幼児、児童、高齢者等が交通事故にあわないための交通安全教室や街頭指導は、交通事故のないまちづくりに寄与している。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 市内すべての保育所及び小中学校、高齢者を対象としている。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 交通事故にあわない、また起こさないための交通安全対策は行政で行うべき事業である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 近隣市と比較して、交通事故発生率は同程度である。また、幼児、児童、高齢者等の交通死亡事故は発生していない。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 実施回数を増やすことにより、幼児、児童、高齢者等の交通死亡事故ゼロを継続することができる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業がないため行政により目的達成に向けて事業を実施する。ただし、交通安全教室は警察や保護者で組織されたベコちゃんクラブと連携している。また、街頭指導はボランティアにより実施されている学校がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 交通安全教育の活動水準を維持していくために必要な経費である。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 最低限の取り組みであり削減できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市内すべての保育所および小中学校、高齢者を対象としているので公平である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	高齢者に対する交通安全対策として、啓発活動および交通安全教育が必要と考える。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																								
① 老人クラブ等の高齢者団体に対して、積極的に交通安全教育を実施する。 ② ③ ④																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								
① 高齢者団体に、交通安全教室(出前講座)の実施を働きかけると共に、広報誌を活用して広く高齢者に周知する。 ② ③ ④																								